



黒川美克 議員

まちづくりのしくみ

問 高浜市都市計画マスタープランについて。

答 計画目標年次を第6次高浜市総合計画と同じ、平成33年度と設定し、第6次高浜市総合計画の将来都市像である、「思いやり、支え合い、手と手をつなぐ、大家族たかほま」の達成に向け、市民の都市づくりへの活動に対する参加意欲の高まりに配慮されるような仕組みづくり、地域の都市づくりの熟度に応じた支援体制づくりに加え、対応策の検討を進めたいと考えています。

問 高浜市公共施設あり方計画と都市基盤整備について。

答 本市のすべての公共施設を更新するとした場合、投資的経費の総額が今後40年間で522億5千万円、年当たり13億1千万円必要との試算結果が示されました。施設の持つ機能の複合化・運営の見直し・統合等による総量の圧縮などに

より、コストベースで54%の削減を図り、更新費用の総額は、240億4千万円、年平均6億円となり、財政シミュレーションの試算では投資的経費の年額5億2千万円と比較した場合、1.2倍まで圧縮できる結果となっております。市役所庁舎については他の公共施設との複合化や保有形態の見直しによる効率化とし、高浜小学校については施設更新にあわせ、図書館やスポーツ施設等との複合化を図ることや、多目的利用を図るとともに市民との協働や民間企業との能力等の活用を前提とする新たな手法を取り入れて実施するとしています。土地区画整理事業等の都市基盤整備の実施には、多大な年月と費用が必要となり、市の財政負担も相当の額に上ることが予想されますので、将来のまちづくりを進めていくうえで一つの事業手法であることは理解しますが、今回は考えていません。

問 高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例について。

答 犬のフン対策としては、市内動物病院に飼い主のマナー遵守の啓発ポスター掲示や、狂犬病予防接種時に犬のフン放置禁止チラシの配布等、飼い主に対して飼育指導を実施しています。

産業振興について



鷲見宗重 議員

問 消費税増税に伴う施策が必要ではないか。

答 消費税増税に伴い、中小企業が設備投資などに必要となるといったことは考えられるので、企業の声を把握することに努めていきたいと考えています。

問 2013年度の補正予算で国の長期優良住宅リフォーム推進事業をスタートさせている。国はこうした事業を行っているがこれを見て市としてどう考えるか。

答 この事業における事業効果は、中古住宅市場の流通促進や長く使っていただける、ストックを壊さずにきちんと手入れして長く大切に使う社会の構築が期待されるので、有効である。

問 住宅リフォーム補助制度は高浜市の方針に沿った事業では。

答 個人の資産に税金の投入ということになりかねないので社会的コンセンサス（合意）は得

地域医療の充実について

にくいと考える。住宅リフォーム全体を対象とした助成制度については、慎重にすべきものである。

問 高浜分院においても、救急医療を再開すべきであると考えるが、見解は。

答 採算ベースに乗りにくく、大きな赤字が発生することから、多額の運営費が必要となる。救急医療には多くの人、物、金が必要であり、困難である。

問 平成25年の高浜分院の収支状況は。

答 今年の1月末の段階で1億2250万7千円の経常損失が発生している。水害復旧にかかると特別損失が1947万4千円発生しているため、1億4189万1千円と聞いている。

問 赤字解消のためには診療科目を増やすことが必要ではないか。

答 診療科目を充実することにしたことはないが、新たな診療科目を標榜するには医師の確保が絶対条件になる。新たな診療科目を標榜できる状態にない。

